



【四国】公明党の高木陽介政務調査会長は19日、高松市で行われた党四国方面本部の夏季議員研修会に出席し「議員力を高めながら党勢を拡大しよう」と呼び掛けた。

高木政調会長は、公明党が少子化対策として策定した「子育て応援トータルプラン」について、「ライフステージごとに切れ目ない支援策を打ち出し、全体像を明確にしたのは公明党だけだ」と強調した。

党勢拡大の取り組みとしては、アクティブサポーター(AS)の取り組みの重要性を力説。「地道に工夫しながら人間関係を築き、地域で本当の味方づくりに挑戦しよう」と訴えた。

研修会では、石田祝稔方面本部長があいさつ。少子化対策や安全保障について研さんしたほか、香川、高知、愛媛、徳島の各県で奮闘する議員が、党勢拡大の取り組みを報告した。